

令和4年度 つながる！地域活動ゼミ 実施報告

「これから地域で活動をしたい!」「地域で何かできることはないか?」と考えている方を対象に『つながる!地域活動ゼミ』を開催します。

講義やグループワークなどを通じて、まちの魅力づくりや地域課題の解決方法について学び、実践につながるヒントを得られる講座です。自身ができること、やりたいことを整理し、地域で必要とされている活動にどのように関わっていくか、自身に合った活動は何かを探してみましょう。

*『つながる!地域活動ゼミ』は、横浜市18区それぞれが取り組む「地域づくり大学校」事業の一環です。



プロボノとは・・・ラテン語の「Puro Bono Publico」を語源とする言葉で、社会的・公共的な目的のために職業上のスキルや専門知識を活かして取り組むボランティア活動のことです。

第1回目 令和4年9月3日(土)

『プロボノって何?経験や得意を活かした地域活動を知ろう!』

～ 地域参加への第一歩 ～

A screenshot of a flyer for the "Pro Bono" seminar. The flyer has a blue and white color scheme. At the top, it says "つながる!地域活動ゼミ" and "『プロボノって何?経験や得意を活かした地域活動を知ろう!』". Below that, it says "～ 地域参加への第一歩 ～". The main text describes the seminar's purpose: "コロナ禍によって地域との関わり方が変わってきました。地域で活動してみようと考えている方が増えていきます。そこで従って職業上のスキルや専門知識を活かした活動が、自分の得意さもとに自分に合った活動を探してみましょう!" The flyer also includes the date and time: "日時: 令和4年 9/3 (土曜日) 19時30分～19時50分" and the location: "会場: 泉区役所 4階A30会議室". There is a photo of the speaker, 結城 生馬 氏 (Yuki Nauma), who is a former member of the Pro Bono network. The flyer also lists the application process: "申込方法: 申込フォーム、電話、EメールでOK" and "申込期間: 令和4年8月10日(日)～15日(金)". At the bottom, there is a QR code and contact information for the seminar.

With コロナの状況下においてテレワークが普及し、自宅にいる時間が増えたことにより、地域で活動をしてみようと考えている方が増えています。

また一方で、地域での活動には興味を持っているけれど、仕事をしているから長い期間関わることは難しい、一人で新しい事に挑戦する自信がない、と考えている現役世代も多くなります。

『つながる!地域活動ゼミ』の初回の講座では、『プロボノ』をテーマに、新しいボランティア活動の仕組みについて学びました。



【講師】 さが いくま
嵯峨 生馬 氏

（認定 NPO 法人サービスグラント 代表理事）

横浜市生まれ。シンクタンク研究員を経て、2005 年、日本におけるプロボノの草分けとして『サービスグラント』を開始。プロボノのコーディネートを通じて、NPO・地域活動団体等の基盤強化を支援。累計 1,100 件以上のプロボノプロジェクトの運営実績を有する。2019 年から横浜市におけるプロボノ『ハマボノ』を運営。

講義

人生 100 年時代を迎えてライフステージ観が変化してきたことに触れながら、専門的なスキルや経験を活かしたボランティア『プロボノ』をすることのメリットや地域の課題解決に貢献できることなどについてお話しいただいたほか、横浜市のプロボノプログラム”ハマボノ”についても説明していただきました。

また、日本は欧米と比べて身内以外の人と交流する機会が少ないことや、人とのつながりの頻度が健康と深い関連性があることなどについてもデータを用いてお話しいただきました。

さらに、事例紹介として実際にプロボノワーカーとして活動されているお二人をお招きし、活動して感じたことや自分にプラスになったこと、他のメンバーとどのように協力して課題に取り組んだのかなどについて具体的に分かりやすく話ししていただきました。



講演する嵯峨氏



プロボノワーカーによる事例紹介の様子

■ 参加者の声（抜粋）

- ・実際に活動されている方のお話が聞けて大変良かった。
- ・現役の方がボランティアに積極的なことに感心した。
- ・自分の経験やスキルでハマボノに参加することへの不安がかなり解消された。
- ・自分でもできるかな、という気持ちになった。
- ・特別なスキルがなくてもチームとして動き、達成感を得られるという内容に好感が持てた。

第2回目 令和4年 10月22日（土）

『あなたの得意や経験で居場所づくりに関わろう！』 ～プロボノ編～

つながる！
地域活動ゼミ

『あなたの得意や経験で
居場所づくりに関わろう！』
～プロボノ編～

受講料
無料

社会貢献しながら、新たなスキルアップができる「プロボノ」。新しいボランティアのスタイルを知り、仕事で得たスキルを活かす活動や、無理なく活動をするためのコツについて学ぶ機会です。あなたならではの得意や経験で地域の居場所づくりに関わってほしい。

■ 日時：令和4年 10月22日（土）13時30分～15時30分
■ 会場：奥居駅所 4階AB会議室

【講師】
タテムト たもつ
齋藤 保 氏（株式会社イータウン 代表取締役）

「caféから始まるおもしろまちづくり」をキャッチフレーズに、2005年から港南台タウンカフェを運営。まちづくり実践者として、地域の多様な団体・市民参加型のまちづくりを目指す。コミュニティカフェ、ソーシャルビジネス支援プロデューサーとして運営支援や人材発掘・育成事業を展開。

■ 対象者：家庭内非・自働、自営業、仕事で働きたいと考えている方、活動で活躍を希望している方
■ 申し込み：申込フォーム、電話、ホームページで申し込み可能。申込料・参加料無料。退会・キャンセル料なし。お問い合わせは0476-82-1111
■ 申込時期：令和4年10月1日（月）～10月15日（日）まで
■ 定員：30名程度（申込状況により調整させていただきます）

【申込先】奥居駅所 奥居市民センター 第2研修室（3階307号室）
〒243-0292 1-3-307 奥居 1階 〒243-0291 奥居市民センター 3階307号室

当日の詳しい内容については → つながる！地域活動ゼミ 検索

主催：横浜市 奥居駅所 匠館運営部

令和4年度 つながる！地域活動ゼミ
第2回目チラシ



【講師】 さいとう たもつ
齋藤 保 氏

（株式会社イータウン 代表理事）

「café から始まるおもしろまちづくり」をキャッチフレーズに、2005年から港南台タウンカフェを運営。まちづくり実践者として、地域の多様な団体・市民参加型のまちづくりを目指す。

コミュニティカフェ・ソーシャルビジネス支援プロデューサーとして運営支援や人材発掘・育成事業を展開。

講義

講師自身が子育てをしていた時期に芽生えた『地域=子どものふるさと』という思いをきっかけに始まった居場所づくりのエピソードや、居場所に関わる多くの人たちと意見交換しながら進めるなかで、スタッフやボランティアとして参加してくれる仲間が増え、様々なアイデアを多くの協力を得て実現してきた経験談などをお話いただきました。

また、港南台タウンカフェの壁一面に設けられた小箱ショップ（ハンドメイド作品の展示・販売を行うレンタル棚）を利用している作家さん同士の交流から始まった募金活動や地域の恒例イベント『キャンドルナイトin港南台』の取組、サービスB（横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業）に取り組んでいるカフェの様子など、関わる人の”得意を活かした活動”についてご紹介いただきました。

講座の後半は、グループごとにワークショップを行いました。参加者の得意や実現したいことを発表し、質問やアドバイスし合うことで、今後の活動実現に向けた新たな気づきを得ることができました。



講演する齋藤氏



グループごとのワークの様子

■ 参加者の声（抜粋）

【講座で印象に残ったこと】

- やりたいこと、できること、必要性を整理する。
- 活動は自分の楽しみ、自分の居場所、やりがい達成感、学びの場。
- 仲間との関係づくりの大切さ。
- いきなり活動を始めるのではなく、軽い話し合いや他の活動からも地域活動につなげることができるのだと学べた。
- 地域活動の仕組みや楽しさを知ることができた。
- やりたいと思ったことをやってみようという気持ちが強くなった。

【地域活動の第一歩でやりたいと思ったこと】

- 自治会の楽しいホームページを作ること。
- 団地の活性化、独居独身男子の居場所作り。
- ご近所、地域の方々とのコミュニケーションをとり、いい関係を作る。
- 今はやりたいことがいっぱい。少しずつできればと思う。

第3回目 令和4年11月27日(日)

『デジタル×プロボノ』

～ICTの業務経験を活かしたプロボノの事例から学ぶ～

デジタル×プロボノ

～ICTの業務経験を活かしたプロボノの事例から学ぶ～

社会が変化するにともなうスキルアップができる『プロボノ』。ICT活用に関するプロボノも学びながら、自身のICTの業務経験を活かした地域活動について学ぶ講座です。あなたの専攻や経験を地域支援に活かすヒントを探しましょう！

- ◆ 日時： 令和4年 11/27 (日) 13時30分～15時30分
- ◆ 会場： 泉区役所4階4A日会議室

事例紹介画像

デジタル×プロボノ

NPOのDXを支援する

【事例紹介】

デジタルプロボノ、認定NPO法人サービスグラントにプロボノとして登録しているプロボノワーカーの有志が運営するグループです。デジタルに特化したプロボノを行いながら、参加するビジネスパーソンがデジタルスキルの習得を目指しています。

Webサイト構築や動画等の制作などICT全般の支援について紹介しました。

◆ 対象者 泉区在住、有職、有学で、地域で活動したいと考えている方、ICTの業務経験を得意とされている方

◆ 申込方法 申込フォーム、電話、Eメールで氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス、活動領域、志望領域を詳しくお知らせください。

◆ 申込締切 令和4年11月1日(日)

◆ 定員 30人限定 申込先着順の優先枠となります。

【問合せ】 泉区役所 区政推進課能力養成係 (052)307-0001
TEL 05-300-2233 FAX 05-300-2265 Eメール iz_chi_kiryokuseisy_yakokana.jp

詳しくは → つながる！地域活動ゼミ [検索](#)

新型コロナウイルス感染症対策についてのおお願い
・本場場内が定員を超えたり、換気設備などの設備が不足する場合は、座席を確保できない場合があります。ご了承ください。
・感染症予防対策として、参加者の体温検閲や検閲後の検閲を行います。
・新型コロナウイルス感染症発生による中止となる場合があります。予めご了承ください。

主催： 泉区役所 泉区役所 区政推進課

パソコンやスマートフォン等のデジタル機器が身近となった現代において、SNS や Web サイトなどの ICT を活用することは地域活動においても必要不可欠となっています。

『つながる！地域活動ゼミ』第3回目の講座では、社会貢献しながら更なるスキルアップができる『プロボノ』について、ICT 支援に関するプロボノの活動事例を学びながら、自身の ICT の業務経験を活かした地域活動について学びました。

令和4年度 つながる！地域活動ゼミ
第3回目チラシ

【事例紹介】 デジボノ

認定 NPO 法人サービスグラントにプロボノとして登録しているプロボノワーカーの有志が運営するグループです。デジタルに特化したプロボノを行いながら、参加するビジネスパーソンがデジタルスキルの習得を目指しています。

Web サイト構築や動画等の制作など ICT 全般の支援について紹介しました。

NPOのDXを支援する



【事例紹介】 移動支援バス『おでかけ3』

横浜市西区第3地区が掲げる目標「山坂が多い地形でも地域の誰もが外出しやすいきっかけを作る」の達成を目指し、地域で協力しあって平成31年4月から、外出にお困りの方の移動を支援するバスを運行しています。

本講座では、プロボノワーカーにホームページの作成を依頼した事例を紹介しました。

事例紹介

【デジボノ】

デジボノからは 3 人のメンバーを講師に招き、デジタルのスキルがどのように地域支援に活かせるかについて、それぞれの経験談を交えてお話しいただきました。

例えば、団体から支援依頼があった時、現状の課題や目的などについて一方的に指導するのではなく、団体と意見交換しながら進めることで双方が納得できる成果物を提供できることや、コミュニケーションを大切にすることで団体の課題整理にもつながるようなコーディネーター的役割も担っていることをお話しいただきました。

プロボノを行うことでやりがいを感じ、自身のスキルアップにもつながるため、自身の仕事に良い影響を与えていると、3 人の講師が楽しそうに話されているのが大変印象的でした。



デジボノの活動紹介をする 3 人の講師

【移動支援バス『おでかけ3』】

プロボノ支援を受けた団体の事例として、”おでかけ3実行委員会”の代表者と、実際にその活動を支援したプロボノワーカーの両者からお話をうかがいました。

西区の移動支援バス『おでかけ3』は、山や坂の多い地域で外出が困難な人を助けたいという思いから始まりましたが、この事業を継続するために、もっと利用者を増やすことが課題でした。今まで利用者の募集をチラシや口コミで行っていましたが、プロボノワーカーの協力を得て Web サイトを活用したことにより、利用者や協力者が増えたという事例です。

続けて、”おでかけ3 実行委員会”にプロボノを行った方に登壇いただき、支援をしたきっかけや内容についてご紹介いただきました。コロナ禍で社会全体のオンライン化が進んだことや自身の在宅ワークが増えたことで会社との関係が変化し、これから社会とどうつながっていくかについて考え始めたことが地域支援のきっかけだったそうです。

プロボノを行ったことで自身の強みは会社内だけのものなのか、地域貢献に活かせるものなのかを見極めることができ、現在では最後までやり遂げたいという思いもあり”おでかけ3実行委員会”のメンバーの一員としてデジタル面の支援を続けていることをお話しいただきました。



移動支援バス『おでかけ3』
の事例紹介の様子

ワークショップ

後半のワークショップでは、地域でやりたいことを見つけるために自分が提供できるスキルを「やりたいこと」「出来ること」「自分が意義を感じること」に整理し、2人一組になって意見交換をしました。他者の意見を聞くことで新たな気づきを得られたり、お互いに協力し合えそうな人に出会えたりと、参加者にとって有意義な時間となりました。



意見交換の様子



質疑応答

■ 参加者の声（抜粋）

【講座で印象に残ったこと】

- デジタル×プロボノが地域活動におけるICT活用を支援出来ることがわかった。
- 「迷わず行け」まずは一歩踏み出してやってみることが大事。
- 目的や条件に応じて、今あるサービスで解決を目指すというのは良いアプローチだと思った。
- 経験談は非常に参考になった。強みにつながる気づきを得るというのに元気づけられた。
- ICT現役の方がいきいきと活動されているのが分かった。
- 自分のITの知識を活用できるかも、と思った。

【地域活動の第一歩でやりたいと思ったこと】

- 移動支援バスは考えてみたい。
- ホームページ作成やチラシ作り。
- 地域の高齢者向けのスマホやパソコン操作支援活動などやってみたい。
- 自治会の運営が高齢化で行き詰まっている例が多い。ITで連絡方法を紙以外のネット化にして効率的にしたい。

第4回目 令和5年1月28日（土）

『レッツスタート！あなたらしい地域活動の関わり方』 ～プロボノ編～

地域活動はじめてみませんか？

つながる！地域活動ゼミ

レッツスタート！
あなたらしい地域活動の関わり方
～プロボノ編～

地域の活動イベント、市民団体の活動などに参加した方が、より活動の幅が広がります。また、ボランティア活動も、地域活動に参画し、自分らしい活動の関わり方を身につけて、地域活動の関わり方を広げませんか？

講師
長田 英史 氏
(NPO法人れんげ舎 代表理事)

1972年、神奈川県茅ヶ崎市生まれ。1996年、神奈川県茅ヶ崎市にNPO法人れんげ舎を設立。同大学人文学専攻科教育学専攻に進学し、教育学や心理学、身体論などを学ぶ。在学中より「子どもの居場所づくり」に関する教育運動に参加。1996年、れんげ舎を設立。長年の活動経験を活かして、他団体へのコンサルティング、講演、執筆などを精力的にこなし、講座、研修、コンサルティングなどは全国で年間150回以上にのぼる。

日時
令和5年
1/28 (土)
14時～16時

会場
泉区役所
4階A白C会議室

※プロボノとは「ボランティア活動の場」を運営する「NPO・NGO」の形態を指します。専門家が主体的に活動の場を提供し、社会貢献を目的とした活動の場です。

- ※ 対象者：泉区在住、在勤、在学で、地域活動に関心している方、活動の経験がある方
- ※ 申し込み：申込フォーム、電話、Eメール（泉区 区政推進課 課長 藤原 勇太）
- ※ 申し込み：9月28日 14時（土）
- ※ 定員：30名（先着順）

【会場】 泉区役所 泉区職員研修室4階A白C（旧10号門）
【電話】 042-233-1233 【FAX】 042-233-1233 【Eメール】 info@rengeya.or.jp

申し込みの詳しい内容については → つながる！地域活動ゼミ

主催：横浜市 泉区役所 区政推進課

令和4年度 つながる！地域活動ゼミ
第4回目チラシ



【講師】 おさだ てるちか
長田 英史 氏

(NPO 法人れんげ舎 代表理事)

神奈川県茅ヶ崎市生まれ。和光大学経済学部経営学科卒業後、同大学人文学専攻科教育学専攻に進学し、教育学や心理学、身体論などを学ぶ。在学中より「子どもの居場所づくり」に関する教育運動に参加。

1996年、れんげ舎を設立。長年の活動経験を活かして、他団体へのコンサルティング、講演、執筆などを精力的にこなし、講座、研修、コンサルティングなどは全国で年間150回以上にのぼる。

講義

講師が学生時代に、友人から頼まれて人前でギター演奏を行ったことが、今、地域活動や活動団体を支援するきっかけになったというエピソードや過去にプロボノワーカーを迎えた時の経験談も交え、きっかけはあらゆるところにあることや支援者として関わることの難しさや楽しさのほか、プロボノを迎える側の気持ちもお話ししていただきました。

また、そもそも地域活動とはどういうことか、地域活動団体の成り立ちなど基本的な仕組みについて教えていただきました。「プロボノとして理想の活動や関わり方がすぐに見つからなくても、技能やスキルに加え“何かしたい”という気持ちがあれば、自分らしい活動の場が広がっていくのではないかと参加者の背中を押すようなお話もしていただきました。

後半のグループワークは、参加者自身がプロボノで活かせるスキルや知識をエントリーシートに整理しながら、スキルはないけれどやってみたいことや興味のあることなども書き出しました。シートに記入した内容を基に地域活動に対する思いをグループ内で共有すると、同じ思いのメンバーと話が弾んだり、今まで気付かなかった地域の課題を知ることができた様子で、参加者への良い刺激となったようです。



講演する長田氏



グループごとのワークの様子

■ 参加者の声（抜粋）

【講座で印象に残ったこと】

- 人の役に立ちたいと思っている方が多くいらっしゃることが嬉しかった。
- 団体の種類や関わり方が良く分かった。
- 参加するのに、立ち位置を明確にすることも大切だと思いました。
- スキルがあっても退職して家庭にいる人が多い。

【地域活動の第一歩でやりたいと思ったこと】

- 傾聴ボランティアとして活動してみたい。
- 子ども関係や地域課題に関すること。
- ヤングケアラーや高齢者問題に関わること。
- 今やっていることをベースに、まずは「つながる」を作るところから。

** 主催者からひとこと **

令和4年度から始めました「つながる！地域活動ゼミ」には多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。すでに地域活動をされている方は、日頃の活動をもっと深めたい、仲間を増やしたいという思いをもって参加されたと思いますので、何か良いヒントになったのであれば幸いです。

また、地域活動をこれから始めたいと思って参加された方にとっては、プロボノという新しい活動の仕方が新鮮に感じられたと思います。講師の皆さんが「まずはやってみよう」「無理なくできることから」「きっかけはたくさんある」と話していたように、一歩踏み出してみてください。

今後も、地域と関わりたい、地域活動を始めたいと考えている方を対象に、つながる！地域活動ゼミを開催してまいります。